



8月4～6日 高校生が尾道を描く

県内高校生美術部員が尾道の風景を描く写生大会が行われ、広島県内21校から約100人が参加しました。開会式を簡略化するなど新型コロナ対策を行いながら、生徒たちは商店街や海辺、神社など思い思いの場所で、アクリル画や油彩画による作品を制作していました。

商店街の路地を描いていた因島高校の中務梨乃さんは、「下見に来てこの路地にしよう決めていました。3日間しかないの、急いで描いています」と話していました。



8月15日 延期の成人式 オンラインで開催

新型コロナ感染防止のため、「令和3年尾道市成人式」は無観客でのライブ配信で開催されました。式典では、新成人代表の村上正博さん、前田莉那さんによる「二十歳の誓いの言葉」や太鼓演奏のほか、市民からのメッセージ動画も寄せられました。

式終了後、新成人代表のお二人は今回のオンライン開催に際し、「成人式で同級生と集まらないのは残念だけれど、今は我慢して、収束した時に会えるのを楽しみにしたい。」と話していました。



8月15日 東京2020パラリンピック聖火 フェスティバル(広島県の火)

広島県では、県内全市町、特別支援学校全校などで採火された火を1つに集め、「広島県の火」とする集火を行い、東京に送り出す「出立」を行いました。

尾道市での採火は、8月15日(日)に浄土寺本堂で行われ、大会開催への願いを込めて、本堂のともしびから小林暢善住職により採火されました。



8月24日 尾道いちじく 本格出荷始まる

尾道特産いちじくの蓬萊柿^{ほうらいし}は、江戸時代から栽培されている日本で最も古い品種で甘味が強くフルーティーな味わいが特徴です。現在は御調～因島まで広く栽培されています。浦崎町で15アールを栽培しているJA尾道市いちじく部会の高橋泰登部会長・明美さん夫婦は、「玉太りもよく甘味と酸味バランスよく仕上がった。美味しく生で味わって」と話していました。9月上旬に出荷のピークを迎え、10月下旬まで出荷されます。